

様式2 令和6年度 清瀬市立清瀬中学校 学校評価					
学校教育目標		育成を目指す資質・能力及び特色ある教育活動			
人間尊重を基本理念に国際的視野にたち、平和を愛する社会人の形成をめざして ・正しい判断力と粘りづよい実践力をもった生徒を育てる／・健全な身体と豊かな情操をもった生徒を育てる ・高い知性とたくましい創造力をもった生徒を育てる		○生徒一人一人の「よさ」を認め、「可能性」を引き出す指導を心掛け、生徒の自己有用感を高めていく教育活動を目指す。 ○人間関係の構築のために必要な能力を育て、コミュニケーション力を高めていく活動を増やす。これにより、安心安定な学年学級づくりを推進する。			
目指す学校像(ビジョン)					
【目指す学校像】 1魅力ある学校 2活力のある学校 3信頼される学校 【目指す児童・生徒像】 自分の考えに自信をもち、他を思いやりながら自己実現できる生徒 【目指す教師像】 誇りと情熱をもった教育を実践できる教師					
前年度までの学校経営上の成果と課題					
前年度は、タブレットPCなどのICT機器の授業における利用の促進を図った。プロジェクターによる投影、電子黒板の利用は盛んになった。今年度は、生徒のICT機器利用による協働作業の増進を図ることが課題である。					
柱	具体的方策	自己評価		学校関係者評価	
		評価	課題及び次年度以降の改善方策(案)	学校関係者による「自己評価」についての評価	次年度以降の改善方策
		取組指標	成果指標		学校関係者評価の結果を踏まえた改善方策
確かな学力の向上	授業アンケートを定期的に行い、生徒の学習への関心度を把握する。	4	3	・同じ形式で授業アンケートを実施したこと、経年変化も分析できる。 ・生徒の回答を授業改善に反映していくことが大切である。	・令和7年度も統一項目のアンケートを実施し、学力の向上を図っていく。 ・経年変化を分析し、授業力の向上に努めていく。 ・実施する時期も検討していく。
	各学期にタブレット活用月間を設定し、全教員にICTを活用した授業に取り組ませる。	4	4	・常にタブレットを活用しようという取り組みができていて、生徒も使い慣れている状況をぜひ継続してほしい。	・不登校生徒にとっては、オンライン授業が学校とのつながりであり、保護者にとっても子どもを支える大切な学習ツールになっているので、今後も継続し、学習をサポートしていく。 ・教員のICT活用を継続していく。
豊かな心の育成	道徳の授業を中心として、人権教育プログラムやいじめ総合対策を使ったいじめの未然防止の授業を実践する。	4	4	・法教育の取組は、継続してほしい。 ・生徒を不登校にさせないためにも、「いじめ」をテーマにした取組の継続が必要である。	・いじめ防止対策や人権教育を継続し、常に早期発見できるように、道徳授業を中心に取り組んでいく。 ・構成的グループエンカウンターを活用し、長期欠席にならない対策を実施していく。
	各教科や学校行事等において、他者とかかわる体験活動や学んだことを発信する活動をに設定し、達成感を味わわせる。	4	4	・体験活動を充実させた。行事においては、生徒主体の企画を少しずつ増やしている。生徒会企画の生徒交流、運動会の創作ダンス、宿泊行事のレクなど教員の手をはず運営し始めている。また、能登地震の被災者に語ってもらった講演により、生徒たちが自分事と捉えるきっかけとなった。	・コミュニティスクール発足に伴い、地域の人々や関係団体との連携を密にしながら、生徒が社会参画できることを模索していきたい。 ・企業と連携した職場体験を充実させ、生徒の自己有用感を高めていく。
健やかな体の育成	保健体育の授業や部活動、体育的行事の指導改善により、生徒の体力向上及び健康増進を行う。	4	4	・体力向上コーナーの充実により、利用者が増えた。キヨリンピック・スポーツ大会を複数回開催し、運動が苦手な生徒でも参加できる企画を立ち上げた。1組にプロダンサーを招聘し、表現活動を行い、閉鎖式にて披露した。今後キヨリンピック参加者の拡大が課題。	・今年度、生徒の体力向上のため、キヨリンピック・スポーツ大会を複数回実施したが、昼休みは短く、なかなか参加者が増えなかった。次年度は改良を加えていきたい。 ・体力向上取組コーナーも充実させたい。
	食に関する企画を催し、関心を高める。	4	4	・地元の農家とコラボした授業、修学旅行に向けて精進料理について学ぶ授業、被災地石川県を応援する献立と社会科授業のコラボ、節季の行事食など栄養士と教員の協働で食に関心をもたせた。	・栄養士と協働しながら食に関する企画を計画し、生徒の関心を高める取組を次年度も実施していく。 ・共働きの家庭が増えているため、節季の行事食を継続し、日本の文化・芸術を継承していく。
特別支援教育の充実	学校行事や生徒会活動、部活動等の交流を充実させるとともに、授業のユニバーサル化に基づいた共同学習を推進する。	4	3	・学校行事だけでなく学年行事でも、特別支援学級の生徒が交流し、学習している状況が、学校全体の風景になっているのが良い。	・学年行事の事前学習や事後学習においても、交流学級で共同学習を行い、特別支援教育の充実を図っていく。 ・令和6年度の中学校特別支援学級生徒が、小学4年生の通常生徒にボッチャを教えた経験を増やしていきたい。
	タブレットPCを活用した個別最適な学習活動を展開し、教科指導を充実する。	4	4	・CBTを用いて、確認を行った。1組授業においては頻繁に利用した。通常ではCBT強化月間を設定して行い、個別最適なアウトプットを考えていった。一部使い勝手悪い部分があり、来年度は清瀬市の契約するミライシードに変更していく。	・CBTを用いて、5教科の学習到達度を自分自身でかくにんすることができた。次年度もは別のソフトを使用していくが、次年度も個別最適な学習に使用していく。 ・次年度はCOCOROプランも使用し、いじめ対策を行っていく。
本校の特色	NPO法人きよせラボあるいは地域支援本部と連携した教育活動を展開する。	4	4	・NPO法人きよせラボや学校支援本部と連携し、生徒の教育活動を支えてもらうのは、ありがたい。	・コミュニティスクール発足にあたり、学校支援本部の役割が重要になってくる。今までの取組を継続しながら、次年度の活動を模索していく。 ・NPO法人きよせラボと協力しながら自習室を継続したい。
	ホームページを定期的に更新	3	3	・校長室だよりが1週間に1度は更新されていることが知られていないのは、非常に残念。ホームページの紹介をぜひ推進してもらいたい。	・学校のホームページを更新し、Home&SchoolにURLを貼り付けて、リンクしている。ホームページの更新状況をどのように知らせていくか、模索していきたい。 ・今後も学校の情報を積極的に発信していきたい。